

### 【工事実施にあたって】

周辺にお住まいの方々に対し十分配慮して、本工事を進めて参ります。

#### 現場管理

- ・ 清掃を励行し、周辺道路等の汚損防止を図ります。
- ・ 工事にあたっては養生を施し、落下物、飛散物の防止を図ります。

#### 騒音・振動・粉じん対策

- ・ 重機等の使用にあたっては極力丁寧な作業に努め、騒音・振動の軽減を図ります。
- ・ 散水を励行し、粉じんの飛散防止を図ります。

#### 交通対策

所轄の警察署と打合せを行い、適正な運行計画及び安全対策を策定、実施し、交通事故の防止を図ります。  
※適宜、誘導員を配置して交通安全に努めます。

#### 作業時間

早期、深夜は原則として作業は実施しません。やむを得ず実施する場合は必要な作業のみに限定致します。



工事の状況 (2020/3時点)



JERAパワー横須賀合同会社

JERAパワー横須賀合同会社  
横須賀火力発電所

〒239-0831 神奈川県横須賀市久里浜9丁目2番1号  
TEL 046-838-3451

本書の内容を本来の目的以外に使用することや、当社の許可なくして複製・転載することを禁じます。2019.8.1作成

【会社概要】

JERAパワー横須賀合同会社は、株式会社JERAのグループ会社であり、横須賀火力発電所の建設及び運転・保守を行う会社です。

【リブレース計画】

横須賀火力発電所は、三浦半島をはじめ首都圏西部への電力供給を支え、隣接する需要地への送電口スの低減が図れる重要な拠点ですが、1号機の運転開始から50年以上が経過し、設備劣化が進み発電効率が低い状況でした。

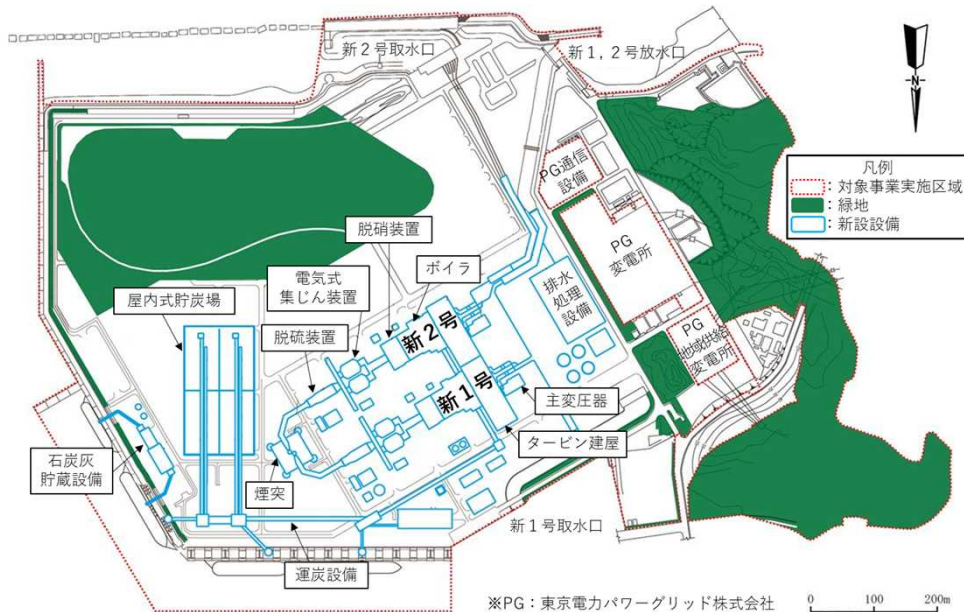
そこでJERAでは、旧設備の護岸や取放水設備等を活用でき、大規模な土地改変、海域工事が不要な石炭火力へのリブレースを計画しました。本リブレースにて、従来の約6割の出力規模とすることで環境負荷の低減を図り、高効率発電設備等を採用した最新鋭火力に生まれ変わります。

【運転開始までのスケジュール】

年	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
旧設備撤去	[Red bar from 2018 to 2022]							
基礎・建屋・機器据付		▼建設工事着工						
試運転					新1号機 運転開始▼	新2号機 運転開始▼		

【設備概要】

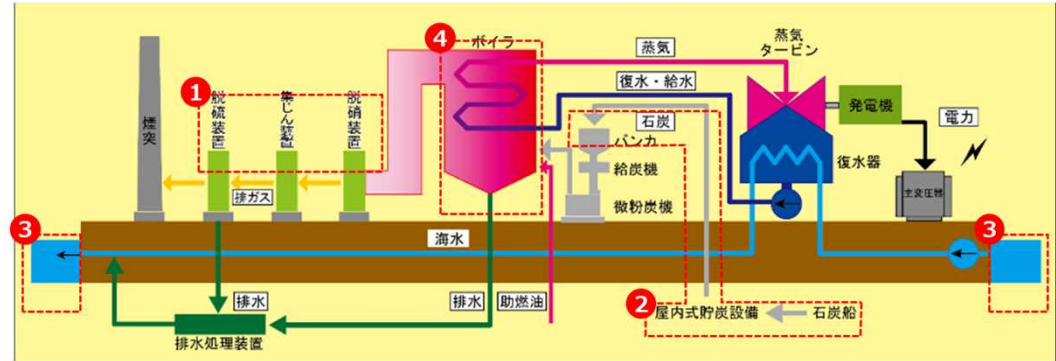
- 敷地スペース 約80万m<sup>2</sup> (横浜スタジアム30個分)
- ユニット型式 超々臨界圧 (USC) 発電設備



【環境負荷低減の取り組み】

新1、2号機では、環境負荷を低減するため、旧設備からの発電出力減や高効率発電設備の導入に加え、最新鋭の環境対策を備えた設備構成としています。

- ①高効率の排ガス処理装置（脱硫装置、集じん装置、脱硝装置）の採用
  - ②石炭粉じん飛散防止のため、屋内式貯炭場・密閉式コンベアの導入
  - ③取放水設備や岸壁の再利用
  - ④防音壁や防音カバーの設置等による騒音振動対策
- ※主要な建物等には、周辺の自然景観色及び周辺景観との調和に配慮した色彩を採用



項目	旧設備稼働時 (3～8号機、2号ガスタービン)	新設設備稼働時 (新1、2号機)	
総出力	224.4万kW	130万kW	
主燃料	重油・原油 (3～8号機) 都市ガス・軽油 (2号ガスタービン)	石炭	
煙突高さ	180m、200m	180m	
ばい煙	硫黄酸化物	494.2 m <sup>3</sup> <sub>N</sub> /h	58 m <sup>3</sup> <sub>N</sub> /h
	窒素酸化物	482.7 m <sup>3</sup> <sub>N</sub> /h	66 m <sup>3</sup> <sub>N</sub> /h
	ばいじん	147 kg/h	22 kg/h
温排水	冷却水量	73.6 m <sup>3</sup> /s	57 m <sup>3</sup> /s
	取放水温度差	8.7℃以下	7℃以下

【CO<sub>2</sub>削減への取り組み】

JERAでは、国のエネルギー基本計画に代表されるエネルギー・環境政策を尊重すると共に、持続可能な環境・社会・経済の実現を目指してCO<sub>2</sub>排出量削減に向けた取り組みを進めることを環境方針として定めており、再エネの開発を積極的に行いつつ、LNGと石炭を組み合わせることでバランスの取れた電源構成としていくことで、グループ全体でCO<sub>2</sub>削減に取り組んでおります。